

# シリーズ「線引きを考える」第1回

## 笠岡に線引きは必要か？

### 線引きの意義と必要性の検証

笠岡市では、昭和47年に都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域に区分する区域区分制度（線引き）を導入し、計画的な市街地の形成、効率的な基盤整備を進めてきました。しかし、農村集落の衰退や人口流出など、近年は線引きの弊害が指摘されています。こうした状況の中、市では平成16年に土地利用計画を策定し、具体的に線引きが必要かどうか、さまざまな角度から検証を行っています。

今月から3回シリーズで、線引きの必要性や廃止した場合の影響、代替方策などについて、検討結果をお知らせします。



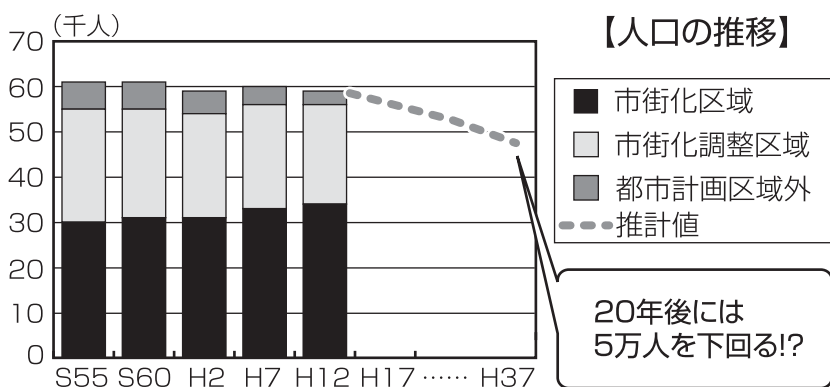
### 線引きの役割

『住みやすいまち』とは、どんなまちでしょうか？家と工場が隣り合っているのは、快適とは言えません。自然や田園の中に虫食いのように家が建ってしまうのも好ましくありません。

都市計画では、こうした恐れのある強い地域について、一定のルールを定めて建物の建築などを制限しています。そのひとつが『線引き』です。

線引きを定めることで、市街化区域（優先的に市街化を図る区域）と市街化調整区域（市街化を抑制する区域）に

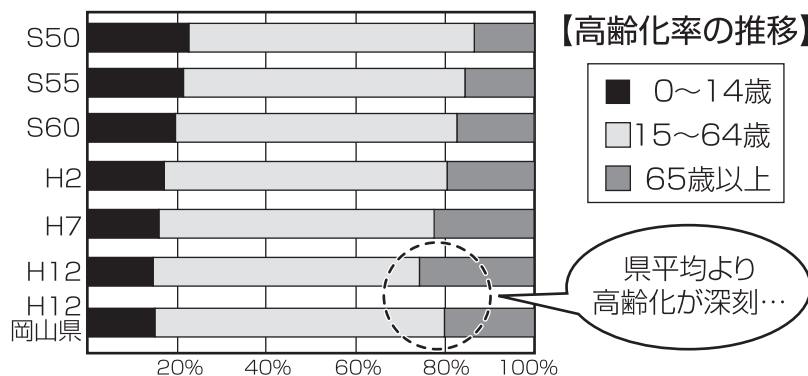
### 【人口の推移】



### 人口と世帯数

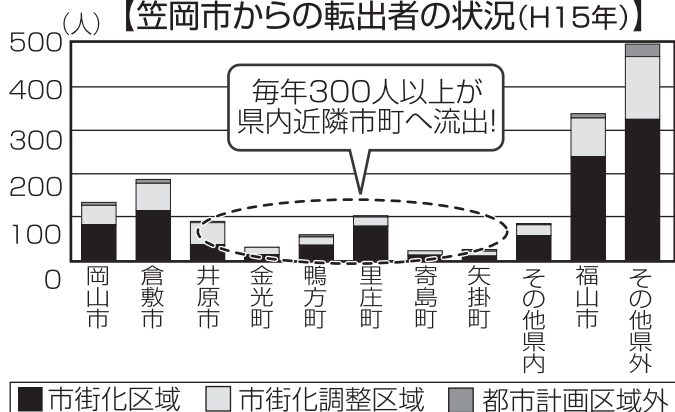
市の推測によると、笠岡市の人口は二十年後には五万人に下回る恐れがあります。このように、線引きは市街地が拡大する傾向が強い時代には有効であると考えられますが、今の笠岡市ではどうでしょうか？

### 【高齢化率の推移】



の人口は二十年後には五万人を下回る恐れがあります。高齢化率は県平均よりも高いレベルで推移しています。次に、転出状況を分析すると、本市とのつながりが深い福山市への転出が最も多くなっていますが、その一方、里庄町などの県内の近隣市町への転出者も多く、合計で年間三百人以上にのびります。

### 【笠岡市からの転出者の状況(H15年)】



### チェック!

### 笠岡市は人口減少が速い?

人口や世帯数の増減について、過去5年間の平均を近くの市町と比べてみると、笠岡市はいずれも非常に低い水準にあります。これは、笠岡市からの人口の流出が、非常に進んでいることを示しているといえます。

(人口)

|     | 増加率(%) |
|-----|--------|
| 里庄町 | +0.33  |
| 井原市 | -0.13  |
| 鴨方町 | -0.61  |
| 笠岡市 | -0.80  |

(世帯数)

|     | 増加率(%) |
|-----|--------|
| 里庄町 | +1.74  |
| 井原市 | +0.85  |
| 鴨方町 | +0.65  |
| 笠岡市 | +0.27  |

【対前年比増加率】